

# 国際協力 いつやるの？ 今でしょ！！

|      |   |   |  |
|------|---|---|--|
| 所属   | 岐阜県立岐阜商業高等学校  | 実践者   | 和田 さとみ (L)   |
| 対象   | 高校1・2年生   | 時間数   | 2時間(50分×2コマ 5クラス)  |
| 場所   | 北舎4階 メディアホール  | 実践教科  | 英語(コミ英 or 英語Ⅱ)、LHR   |
| ねらい  | <b>A 知る</b> 開発途上国と日本のつながりを知る、アジア圏の開発途上国(ラオス)に肯定的に出会う。<br><b>B 気づく・考える</b> ラオスと日本とのつながりや同一性に気づく。<br><b>C 越える</b> よりよい未来づくりのために、開発途上国と先進国 共通の課題について、越えるための解決策を見つける。 |   |  |
| 実践内容 | 回   | プログラム   | 備考   |
|      | 1時間目<br>10分休憩<br>2時間目   | <p>【 Ice Breaking 】 開発途上国 ・ 先進国 ってどんな国？</p> <p>①グループA4対比表でイメージ出し ←抽出2グループ発表</p> <p><b>A : 開発途上国と日本のつながりを知る ・ 「ラオス」を知る</b></p> <p>②「依存大国日本」を見て日本と開発途上国との関係を知る。</p> <p>③日本とラオスの貿易関係を知る。 ↑ 抽出2グループ感想発表</p> <p>④ラオス地理クイズ( 国土面積 ・ 人口 ・ 国旗 ・ 国花 ・ 人 )</p> <p>⑤ラオス文化クイズ( 2枚セットのクイズから1つを選んで出題 )</p> <p>⑥ラオス価値観クイズ( ラオス人なりきり自己紹介 )</p> <p>⑦民族音楽と共に、ラオスDVD( 風景 ・ 食べ物 ・ 人 )を知る。</p> <p>◎正解が多かったグループに、景品としてラオス刺繍ストラップを贈呈<br/>ラオスの歴史・文化(衣・食・住)に触れる。(展示見学、及びドライフルーツチップス試食)</p> <p><b>B : ラオスの課題に気づく・考える</b></p> <p>①一枚のラオスの写真提示。環境問題「ごみ」に気づかせる。</p> <p>②派生図…ゴミの種類を B 紙に書きだす。次にそのゴミがこのまま増え続けるとどうなっていくか考える。</p> <p>③意見共有…ギャラリー方式で他グループの B 紙を見学する。他グループの B 紙に意見を鉛筆で書き足しをしてもよい。</p> <p>④現状を知る…ラオスでは、かつて竹細工やバナナの葉などを生活日用品として使用していたことを伝える。</p> <p>⑤B 紙に★…もし自然に還る素材のものを使ったら消える問題は何かを考える。B 紙に★をつける。</p> <p>⑥ <b>問題提起</b> では、一体どこからビニールはやってきたのか？</p> <p>先進国から便利なビニールがやってきて、十分ゴミ処理が追いついていない現状に気づく</p> <p><b>C : 共に越える</b></p> <p>⑦B 紙にラオス・先進国と書き、課題解決方法を考える ←抽出2グループ発表</p> <p>⑧JICA ラオスの環境問題に対する実際の活動状況を知る</p> <p>⑨今私たちにできることを考える(国際協力に取り組む高校の2事例を紹介)</p> <p>⑩「世界の課題を解決する9つの方法」の紹介・ランキングを実施</p> <p>⑪ラオス青年海外協力隊 本間さんのメッセージを聞く ↑</p> <p>⑫振り返りシートに記入 抽出2グループ発表</p> | <p>A4(対比表)</p> <p>JICA DVD「依存大国日本」<br/>2012年、財務省貿易統計</p> <p>ユニーク文化紹介写真<br/>ラオス人写真<br/>自作ラオス文化紹介VTR①<br/>ラオス刺繍ストラップ<br/>ラオスBOX・試食コーナー</p> <p>課題に気づく写真<br/>B紙(派生図)<br/>マーカー</p> <p>【成果物】「このままゴミが増え続けると?」</p> <p>B紙(対比表)<br/>自作ラオスJICA活動紹介 VTR②<br/>高校生にできる国際協力の紹介<br/>「わたしたちの地球と未来」活用マニュアル<br/>自作ラオス協力隊メッセージVTR③<br/>A4振り返りシート</p> |
| 成果   | 【生徒の振り返りシートより】<br>先進国と途上国のつながりを知ることができた。ラオスについて知り、途上国に興味関心を持つことができた。自分自身の生活の仕方について見つめ直すきっかけになった。国際協力に興味を持つことができた。   |   |  |
| 課題   | ① <b>共に越える</b> 部分でJICA以外にもNPO、NGO、企業等も様々な国際協力を行っている事実を一言加えるべきだった。<br>② 100分×5クラスで実施したが、クラスによってはIce Breakingが十分でなく、一連の活動に行き詰まることがあった。                              |   |  |
| 備考   | JICA HP、及び DVD 『依存大国日本』、2010年<br>名古屋国際センター—HP 『世界のこと、もっと知ってもらいたい！～高校生の国際協力活動～』<br>愛知県国際交流協会 『わたしたちの地球と未来』活用マニュアル  |   |  |

## [ 授業実践の詳細 ]

### 1 時限目 「 ① 国際協力、いつやるの？ 今でしょ !! 」

#### 1 子どもの活動の流れ

**席決め** 1クラス40人(4人×10グループを作成)  
教室入口に置かれた、ラオス伝統紙すきの紙一片の  
席札を一人一枚取らせた。席札にはひらがな一文字  
を記載、本時のタイトル「(国際協力)い・つ・や・る・  
の・い・ま・で・し・よ」の10文字のひらがなのグルー  
プになるようにした。(ひらがなの種明かしは最後に実施)

##### ① アイスブレイキング

「開発途上国・先進国ってどんな国？」

グループで其々が持っているイメージを対比表にして  
たくさん書きだす。グループで出しあったイメージを抽  
出2グループのリーダーが発表。それを板書しておく。

→ その後「これまでに途上国や途上国の人と直接  
つながりを持ったことがあるか」を全体に聞く。

##### ② JICA DVD「依存大国日本」を見る

DVDを通して、開発途上国とのつながりは日本の暮らしを

支える根幹であることを知る。→①の活動を振り返りながら、DVDを見た感想を抽出2グループが発表

##### ③ 対日貿易 (2012年, 財務省貿易統計)

ラオスと日本の貿易額と品目をみて、実際の日本とのつながりを知る。

##### ④ ラオス地理クイズ (国土面積・人口・国旗・国花・ラオス人) (教師対生徒)

ラオスに関する基礎知識を、グループ対抗式のクイズで知る。

A: 「ラオスはどこ？」アジア拡大地図上の①～⑥から選択

B: 「ラオスの面積」 選択肢: ①日本より大きい ②日本とほぼ同じ ③日本より小さい

C: 「ラオスの人口」 選択肢: ①日本人口より多い ②日本人口の約1/20 ③約1/50

D: 「ラオスの国旗と国花」 選択肢: 国花①～③/国旗A～Cまで準備、マッチングさせる

E: 「ラオス人はどこ？」 選択肢: ①～④までラオス人写真 最後の⑤は生徒の担任の写真

★A～Eまで正解率の高かったグループ全員に、ラオスの手刺繍ストラップをプレゼントした。

##### ⑤ ラオス フォト文化クイズ

生徒同士でユニークなラオス文化をクイズ形式で紹介し合う活動。 (生徒対生徒)

グループの中で隣同士をペアにし、向かい合ったペ  
アにラオス文化のクイズを出しあう。1ペアに(表:文化  
に関する写真/裏:写真の解説 これ1セット)×2セ  
ットを配布し、2人で相談して面白い文化と思う方を  
選択させる。2人で問題を考え、向き合っている生徒に  
クイズを出題・解説をする。

**この時限のねらい**

A: **知る**

- ①開発途上国と日本のつながりを知る
- ②アジア圏の開発途上国(ラオス)に肯定的に出会う。

| 開発途上国       | 先進国      |
|-------------|----------|
| お金がない       | 技術が進んでいる |
| 水がまずい       | お金がある    |
| 子供が学校に行けてない | 豊かそう     |
| 賃金が安い       | 明るい(電気)  |

【成果物①】 途上国と先進国のイメージ



ラオスクイズ

⑥ ラオス価値観クイズ (ラオス人なりきり自己紹介) (生徒対生徒)

生徒一人一枚ラオス人の写真を配布する。写真のラオス人はフリップを持っており、そこに「大切なもの」が書かれていることを始めに伝える。(勿論ラオ語なので生徒は読めない)すべて想像の世界で写真のラオス人になりきって自己紹介する(名前、職業、大切なものを言う) →事実を伝える→Sharing



なりきり自己紹介

⑦ ラオス文化紹介DVD(自作)

現地で撮った写真(ラオス文化<風景・食べ物・伝統工芸・人>)を解説と民族音楽を付けてダイジェスト版にした自作VTRを1時間目の最後に紹介

休憩時

ラオスの歴史・文化(衣・食・住)に触れる。  
(展示見学、及びドライフルーツチップス試食)



展示の様子

## 2 子どもの活動の成果・反応

### ① 開発途上国と先進国のつながりについて

- ◇自分が普通に生活できているということは、陰で開発途上国の方々に支えてもらっていて、今やなくてはならない存在であり、お互いに支え合って生きていかなければならないことがとてもよく分かった。(1年)
- ◇服・コーヒー・鮎物など、日本は輸入に依存する中、その多くを開発途上国に頼っていることが分かった。今まで「何かしてあげよう」という気持ちが大きかったが、開発途上国が私たちにとって大切な存在ということを知ることができた。(1年)

### ② ラオスについて

- ◇私の開発途上国のイメージは「人が多い」ことだったが、ラオスは日本より全然少なく途上国にも色々あるのだと分かった。またラオスの人々の雰囲気は日本に似ていて、優しそうで親近感が湧いた。(1年)
- ◇家族を大切にしているラオス人を知り、日本より技術面では劣っているが、人の心の豊かさは日本より大きいと感じた。人との関わりを大切にしていることがよく分かった。(2年)

### ③ 展示について

- ◇知恵を使い、工夫して作り出されているものが多いと感じた。展示してあったものは、どれも自然に還るもので環境に優しく、日本も初心に帰って生活用品の在り方を考えてみるべきだと感じた。(2年)

## 3 使用した教材

- <教材1> JICA 『依存大国日本』 DVD、2010年
- <教材2> 財務省ウェブサイト 貿易統計 『ラオス対日貿易 貿易額と品目』、2012年
- <教材3> JICA中部 『ラオスBOX』
- <教材4> 平成25年度教師海外研修受講者が撮影した写真や情報収集したデータ

1 子どもの活動の流れ

① 課題に気づく

一枚のラオスの写真を提示する。写真からラオスが抱える課題を読み取らせ、「ごみ」問題が深刻だという事実に気づかせる。

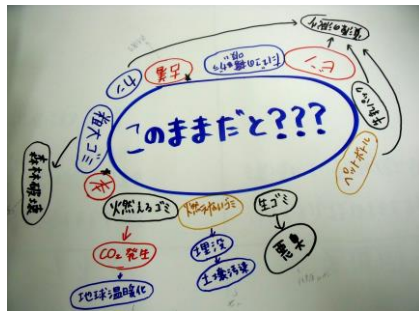
② 派生図

グループに準備しておいたB紙に、考えられるゴミの種類を書きだす。(例:生ごみ・ビニール・PETボトルなど・・・下左図参照) 次にそのゴミがこのまま増え続けるとどうなっていくか、派生図で考える。

**この時限のねらい**

**B :** 気づく・考える  
ラオスと日本とのつながりや同一性に気づく

**C :** 越える  
よりよい未来づくりのために、開発途上国と先進国 共通の課題について、越えるための解決策を見つける

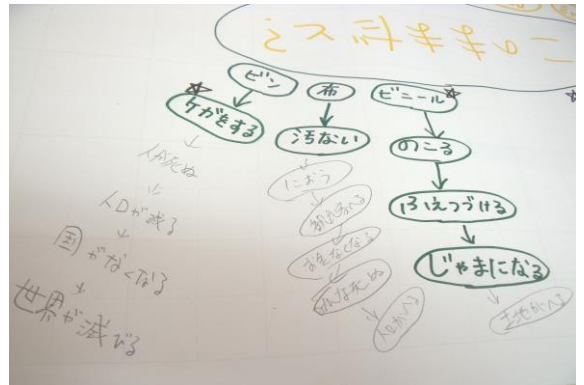


【成果物②-1】 このままだと・・・?

【成果物②-2】 このままだと・・・?

③ 意見共有

ギャラリー方式で他グループのB紙を見学する。他グループのB紙に意見で、さらに考えられる先のことを付け足したい場合は、鉛筆で書き足してもよいこととした。



【成果物③】 他グループによる意見の書き足し

④ 現状を知る

展示しておいたラオスのおひつ(ディップ・カオ)を見せ、ラオスでは、かつてより竹細工やバナナの葉など自然に還る素材の生活用品を日用品として使用していた(している)事実を伝える。

⑤ B紙に★

ラオスのように、もし自然に還る素材のものを使ったら、派生図の中で消える問題は何かを考える。B紙に★をつける。 → 大多数はビニールやPETボトル等の項目に★がついた。かつてラオスには★の問題はそれほど重大ではなかった。

⑥ 問題提起: 「でも・・・」

ラオスの市場で撮影した、ゴミの写真を一枚提示(右参照)し、現在は自然に還る素材に代わるビニールやPETボトルが主流になりつつある事実を伝えた。自然に還る素材の生活用品を使っていたラオス人だが、一体どこからビニールがやってきたのかと問題提起した。 → どの生徒も「先進国」と答えた。

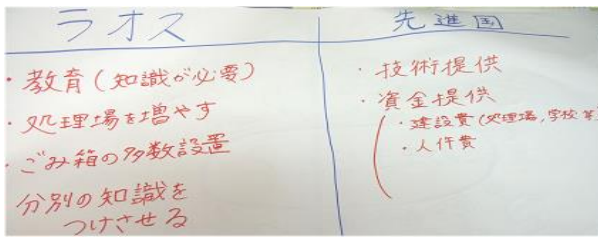


【生ごみとビニールが混じったゴミ】

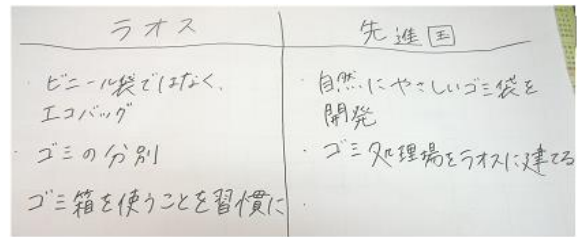
⑦ 課題の解決策 国レベルで考える

B 紙にラオス・先進国と書き、双方ができる課題解決方法を考える

←抽出2グループ発表



【成果物④-1】ラオス、及び先進国ができること



【成果物④-2】ラオス、及び先進国ができること



課題解決策を考える



グループ発表

⑧ JICA ラオスの活動

実際に現在JICAラオスで行われている、環境問題に対するいくつかの取り組みを、自作VTRにまとめて紹介した。VTRを見て、自分たちが考えた課題解決方法が、実際のJICAの活動状況と比べてどうだったかをVTRの後、振り返った。

⑨ 今高校生にできることは何か? 高校生レベルで考える

今回は開発途上国が抱える様々な問題のうち、「環境問題」を中心に取り上げて考えてきたが、高校生にできる国際協力とは何かについて、商業教育+国際協力(名古屋国際センターHPに掲載されていた学校の事例《本校と同じ商業高等学校の取り組みだったため抜粋》)と、文化祭+国際協力(JICAのHPに記載のあった学校の事例《フェアトレード》)の二例を紹介した。

⑩ 世界の課題を解決する9つの方法ランキング 個人レベルで考える

愛知県国際交流協会「わたしたちの地球と未来 活用マニュアル」にある世界の課題を解決する9つの方法のランキングを紹介し、今、自分に何ができるのかを個人のレベルで考える時間をとった。グループでシェア後に何人かの生徒が発表。その後、私自身の生活(研修後、フェアトレードの化粧品を使い始めたことなど)の変化を紹介した。

世界の課題を解決する9つの方法

愛知県国際交流協会「わたしたちの地球と未来 活用マニュアル」より

|  |   |  |
|--|---|--|
| <b>A</b><br>本やインターネットなどで課題について調べて現状を <b>知る</b> 。 | <b>B</b><br>課題の解決に取り組む団体の講座やイベントに <b>参加</b> し、様々な人々とつながる。     | <b>C</b><br>募金・寄付やボランティアをして、課題解決に取り組む団体を <b>応援</b> する。 |
| <b>D</b><br>世界や地域で、課題の解決に向けて、自分が <b>直接活動</b> する。 | <b>E</b><br>便利、安い、速いということばかりが大事だと思ふ今の自分の生活のありかたを <b>見直す</b> 。 | <b>F</b><br>環境に良い商品、生産する人のことまで考えた商品を <b>広める</b> 。      |
| <b>G</b><br>国や市町など政治ができることを提案し、 <b>政治</b> を動かす。  | <b>H</b><br>問題を自分の周りの人に <b>知らせ</b> 、一緒に行動する人を <b>増やす</b> 。    | <b>I</b>   |

愛知県国際交流協会「わたしたちの地球と未来 活用マニュアル」より

⑪ ラオス青年海外協力隊 本間さんのメッセージ

ラオスで現在活躍中の青年海外協力隊員(バレーボール)本間唯子さんの生徒へのエールメッセージをVTRにして紹介した。

⑫ 振り返り →振り返りシートに、本時(2時間)の講座振り返りを行う →グループ名の種明かし

## 2 子どもの活動の成果・反応

### ① ラオスの課題を共に越えることについて

◇ゴミ問題が、日本のような先進国も一つの原因となってラオスで起こっているため、相手を考えて物を送ったりしないといけないな、と思った。(1年)

◇開発途上国がだんだんと経済成長していく中で、様々な問題も起きていることが分かった。環境問題って本当に深刻な問題だということも分かった。しかし、エコバックを使い始めたり、ゴミ箱の設置をしったりできることを少しずつやっていく動きがすごいと思った。(2年)



課題解決のために自分ができること ①

### ② 授業を通して興味が持てたこと



◇開発途上国の生産者に対して、平等に利益が行き渡る取引をしている「フェアトレード」の商品を買ってみたいと思った。買うだけで国際貢献になる商品があることを初めて知った。(2年)

◇もっとラオス以外の開発途上国について知りたいと思った。また、商品などの産地を意識してみようと思った。(1年)

### ③ 授業について

◇今まで自分が知らないことを知れてよかった。無関心な自分が少し変わった。(1年)

課題解決のために自分ができること ② ◇日本の国民として何ができるかを考えさせられる良い時間だった。

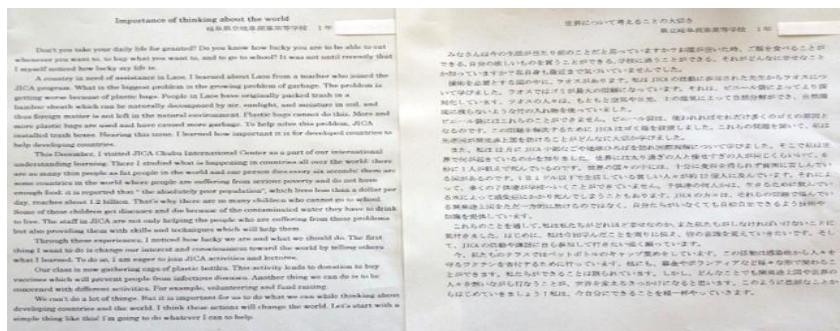
普段の生活から自分には何ができるのかということを考えながら過ごしたい。(2年)

◇グループ全員が参加する学習は、一人ひとりの意見が大事にされていて他の意見と考える機会が多かったのが、自分の考えを深めるのによいと思いました。(2年)

◇参加型のプレゼンは自分のこととしてとらえやすく、真面目にラオスについて考えることができた。スライドショーやビデオも興味が引き付けられ、よく印象に残った。(2年)

### ④ 実践の成果

◇授業後、英会話部に所属する1年生がJICAラオスの取り組み(実践授業で学んだこと・JICA地球ひろば訪問で感じたこと)を取り上げて英語スピーチコンテストの場で発表した。



英語スピーチコンテストの原稿

## 3 使用した教材

<教材5> People Tree フェアトレード商品 『ラオスコヒー』

<教材6> (公財)愛知県国際交流協会 『わたしたちの地球と未来 活用マニュアル Ver.2』

<教材7> 名古屋国際センターウェブサイト『世界のこと、もっと知ってもらいたい! ~高校生の国際協力活動~』

<教材8> JICA ウェブサイト『みんなで考えてみよう、世界のこと —高校生国際協力セミナー—』

<教材9> 平成25年度教師海外研修参加者が撮影した写真や情報収集したデータ

■ 全体を通して

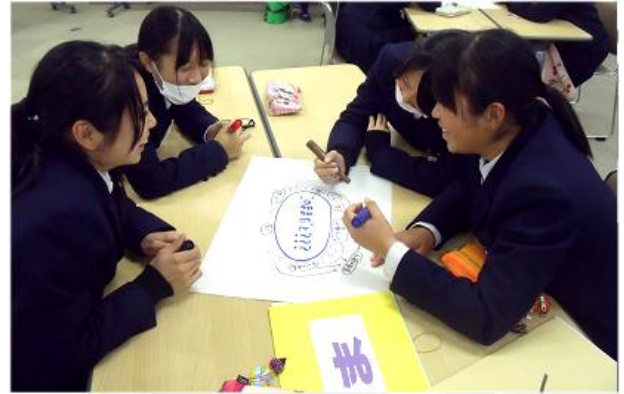
1 授業の様子

<写真1>



ラオスのおひつ(自然に還る素材)を紹介

<写真2>



派生図のグループ活動

<写真3>



ラオスを食す (ドライフルーツチップ試食)

<写真4>



ラオスに触れる (民芸品紹介)

以上